

平成 26 年度 関東支部運営委員会（第 1 回） 議事録

日 時：平成 26 年 6 月 5 日（火） 14：00～17：00				会 場：地盤工学会 3 階会議室				
支部長	龍岡 文夫	○	副支部長	石橋 良啓	○	副支部長	田中 誠	○
副支部長	菊池 喜昭	×	副支部長	青木 雅路	○	顧問	石原 研而	×
顧問	太田 秀樹	○	顧問	國生 剛治	×	監事	齋藤 邦夫	×
監事	佐藤 謙司	○	幹事長	小峯 秀雄	○	副幹事長	橘 伸也	○
副幹事長	吉田 潔	○	山梨県 G リーダ-幹事	後藤 聡	×	茨城県 G リーダ-幹事	松島 亘志	○
栃木県 G リーダ-幹事	西村 友良	○	群馬県 G リーダ-幹事	若井 明彦	×	神奈川県 G リーダ-幹事	森川 嘉之	×
千葉県 G リーダ-幹事	若月 洋朗	○	埼玉県 G リーダ-幹事	川本 健	×	研究委員会 G リーダ-幹事	渡邊 康司	○
会員 SG リーダ-幹事	重村 智	○	会員 SG リーダ-幹事	鈴木 亮彦	×	発表会 G リーダ-幹事	杉山 太宏	○
10 周年事業委 委員長	石井 泰裕	×	事務局	青木 美智子	○			

○：出席，×：欠席

1. 前回議事録の確認

・平成 26 年度第 6 回運営委員会議事録（4/8）

【別紙-1】

→確認・承認された。

2. 今期の体制

【別紙-2】

新任役員（敬称略）

支部長： 龍岡文夫（東京理科大学）

副支部長： 青木雅路（榊竹中工務店）

顧問： 國生剛治（中央大学）

支部監事： 佐藤謙司（応用地質㈱）

評議員： 後藤聡（山梨大学），早野公敏（横浜国立大学），喜内敏夫（芙蓉地質㈱），田頭秀和（（独）農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所），渡辺学（茨城県土木部），古橋勉（群馬県県土整備部），大野昌仁（山梨県県土整備部），永田健（千葉県県土整備部），坂上貴士（東京ガス㈱），足立有史（榊安藤・間），浅田素之（清水建設㈱），小椋仁志（ジャパンパイル㈱）

副幹事長： 吉田潔（川崎地質㈱）

リーダ-幹事： 埼玉県 G 川本健（埼玉大学）

研究委員会 G 渡邊康司（榊大林組）

会員サービス G 鈴木亮彦（榊不動テトラ）

支部発表会 G 杉山太宏（東海大学）

（新幹事： 10 名）

→確認された。

3. 今年度の年間スケジュール

・第 56 回通常総会（本部）：平成 26 年 6 月 12 日（木）

・第 49 回地盤工学研究発表会（本部）：平成 26 年 7 月 15 日（火）～17 日（木）

・第11回地盤工学会関東支部発表会 Geo-Kanto2014：平成26年10月3日（金）

→確認された。

4. 本部からの連絡・検討依頼事項

(1) 平成26年度通常総会出席のお願い 【別紙-3】

→龍岡支部長、小峯幹事長、橘が出席し、支部関連事項を報告することが確認された。

(2) 「第16回事業企画賞」決定のお知らせ 【別紙-4】

→支部推薦の「造成宅地の耐震対策に関する研究報告書及び講習会、浦安市耐震相談」が授与されることが報告された。

(3) 「地盤工学会誌」支部編集委員について 【別紙-5】

→企画総務Gから濱本幹事（東京大学）が推薦されたことが報告された。

(4) 平成26年度支部交付金送金のお知らせ 【別紙-6】

→本部からの支部交付金（前期分）が報告された。

5. 支部からの周知・連絡・検討事項

(1) 関東支部HP独立に関する見積り 【別紙-7】

→提案通り、トーヨー企画に発注をすることが承認された。初期費用162,000円、月額1,400円。ドメインを取得する際は別途協議する。

(2) 交通費規定 【別紙-8】

→本部に倣って交通費・旅費の支給方法を変更するかどうか議論され、今年度は従前のまま変更しない（近郊100km未満も支給する）ことが確認された。支部独自の旅費支給規定の原案を企画総務Gにて作成し、運営委員会にて諮ることが確認された。

(3) 10周年記念事業関連 【別紙-9】

→各グループからの10周年記念事業に関連する行事の希望予算が示され、希望通り配分することが承認された。加えて、会員サービスGが児童向け地盤工学PRコンテストのために希望する追加予算729,200円、および茨城県グループが希望する「研究所めぐり」のための予算100,000円の配分が承認された。今年度の10周年記念事業に関する予算額=5,132,084円の内、4,373,000円が各グループの企画するイベントに配分されたこととなり、現状の用途未定金額は759,084円となる。これについては、その使い道を10周年記念事業実行委員会で用途を吟味していただくことが確認された。

(4) アルバイト職員の「賞与」の支給について 【別紙-10】

→本部に倣って今年度に限り、アルバイト職員に賞与を支給することが承認された。

(5) 平成26年度予算執行状況 【別紙-11】

→確認された。

6. 開催結果、進捗状況の報告

(1) 支部総会、関東支部、4/21 【別紙-12】

(2) 特別講演「洋上の風力発電の現状、課題と展望」、関東支部、4/21 【別紙-13】

(3) アフター5談話会「造成宅地・・・研究委員会活動報告」、会員SG主催、4/23 【別紙-14】

(4) アフター5談話会「江戸期以降の土木史跡・・・研究委員会活動報告」、会員SG主催、6/5 予定 【別紙-15】

(5) 成果報告会、地下水位の回復・・・研究員会主催、6/6 予定 【別紙-16】

(6) 地層標本づくり（10周年事業）、群馬県G主催、8/2 予定 【別紙-17】

→上記の行事が開催されたこと、あるいは開催予定であることが報告された。

7. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項

(1) 会員サービス G

【別紙-25】

→事業内容が報告された。

→若手技術者交流会での若手職員の参加勧誘のため、支部評議委員・代議員のメーリングリストを活用することが承認された。

(2) 茨城県 G

→事業内容が報告された。

(3) 栃木県 G

【別紙-18】

→事業内容が報告された。

(4) 群馬県 G

→事業内容が報告された。

(5) 山梨県 G

→事業内容が報告された。

(6) 千葉県 G

【別紙-19】

→事業内容が報告された。

(7) 埼玉県 G

→事業内容が報告された。

(8) 神奈川県 G

【別紙-20】

→事業内容が報告された。

(9) 研究委員会 G

【別紙-21】

→各研究委員会の活動内容が報告された。

→土木史跡研究委員会がアースデイ環境フェアに参加した報告原稿を、支部ニューズレター次号に掲載することが承認された。

→地盤リスク研究委員会が行う自治体に対しての情報提供依頼を支部長名で行うことが承認された。依頼文については、研究委員会 G と支部長とで確認の上、送付すること。

→新設委員会に1件の応募があったが、委員会体制の検討が十分でないため、新設を保留とすることが確認された。体制（人員構成）を検討いただいた後、運営委員会で設立を再度協議する。

→HPにアップされた研究委員会の議事録についてクレームがあったことについて報告があった。議事録の内容に誤りがあれば修正をする必要はあるが、情報公開の観点からも過敏に反応せず公開を続けるということが確認された。

→地下水位研究委員会の報告書が作成され販売中であることが報告された。

→関東地域研究委員会編集の「新・関東の地盤」が発刊されたことが報告された。

(10) 支部発表会 G

【別紙-22】

→支部発表会に関するスケジュール（発表申込期限、投稿期限等）が確認された。

→学生企画交流セッションの学生企画メンバーが12名集まったことが報告された。

→コードライター交流セッションを「地盤改良」をテーマとして設けることが報告された。

→2つの特別セッションの内、「10周年を迎えた地盤工学会関東支部と地盤工学の軌跡(仮題)」について、新会長にコーディネーターを依頼し、歴代会長にパネラーを依頼することが確認された。また、「これからの10年に向けて(仮題)」については、発注機関側に話題提供をお願いすることとし、まずは石橋副支部

長にご検討いただくことが確認された。

(11) 企画総務 G

【別紙-23】

→打合せ内容が報告された。

(12) 10周年記念事業

→5(3)で審議の通り。

7. その他

(1) 退会・等級変更届

【別紙-24】

・特別会員 株式会社アースアプレイザル 退会

・特別会員 株式会社 UR リンケージ 退会

・特別会員 株式会社 NB 建設 退会

【別紙-1】

→確認された。

(2) 次回運営委員会開催日程

平成 26 年**月**日 (前年度は、平成 25 年 7 月 31 日に開催)

→後日、伝助にて調整することが確認された。